

一人一人の成長を考えながら

一人一人の特性に合わせ、子供達が操作活動を通して主体的に学び、図形に対する見方を深めていく授業を展開された高島教諭。

子供達**一人一人の成長を考え**ながら、「この子には、ここを頑張ってもらいたい。」「こんなことができるようになってほしい」等、**一人一人のめざすところが明確**にあり、それに基づいた指導や言葉かけをされているところが、とても勉強になりました。



第4回 話題提供授業

特別支援学級

第1学年算数科

「かたちづくり」

図形に対する見方を深める

今回の授業では、図形の動的な性質(平行移動、回転移動、対象移動)を理解し、動かすと新たな形が作り出されることを主体的に学ぶ【学びをたのしむ】ことで、「他の形も作りたい!」という発展的な活動へつなげるための第1時の授業でした。



児童の特性と合理的配慮

特別支援学級では、各教科の授業を計画に沿って実施するだけに留まらず、生活力・コミュニケーション力・社会性を育むための視点を意識して授業を進めていくことも重視されています。

今回の授業では、授業内容の深化補充を進めるための学習訓練や心構えに対する指導言語や支援的関わりにも注目されました。

個に応じた支援

- ・集中が切れたり、しゃべり出したりした時には近くに立つ(寄り添う)。
- ・指名をする前に、予告しておく。
- ・耳もとで、そっとアドバイスする。
- ・名前を呼んで指示、助言等をする。



学習訓練等に関わる支援

- ・「今から、お話しします。」
- ・「まだ、触らないよ。」
- ・「『ハイ』は、1回だけ。」
- ・「見てる?あと少しがんばって。」
- ・「思うようにできた?よかったね。」

